

平成29年度 公立大学法人尾道市立大学
第4回理事会・経営審議会 議事要旨

1 日時 平成30年3月29日(木) 午後2時30分～午後4時00分

2 場所 尾道市立大学E棟1階第120会議室

3 議事

- (1) 平成29年度第3次補正予算(案)について
- (2) 平成30年度予算(案)について
- (3) 公立大学法人尾道市立大学の授業料の減免等に関する規程等の改正について
- (4) 尾道市立大学学則等の改正について
- (5) 公立大学法人尾道市立大学教職員退職手当規程の改正について
- (6) 公立大学法人尾道市立大学業務方法書の改正について
- (7) 尾道市立大学教職支援センター規程の制定について
- (8) 第2期中期計画について
- (9) 平成30年度年度計画(案)について
- (10) その他

4 審議結果等

- (1) (第1号議案) 平成29年度第3次補正予算(案)について

【説明内容】

平成29年度第3次補正予算について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

特になし

【審議結果】

第1号議案は、原案通り承認された。

- (2) (第2号議案) 平成30年度予算(案)について

【説明内容】

平成30年度予算(案)について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

- | |
|---|
| <p>●施設整備費について、体育館はどのような状況になっているのか。
○体育館の外壁にひびが入っているが、重大な状況ではない。この度は授業料減免を優先した予算となっている</p> |
|---|

【審議結果】

第2号議案は、原案通り承認された。

- (3) (第3号議案) 公立大学法人尾道市立大学の授業料の減免等に関する規程等の改正について

【説明内容】

公立大学法人尾道市立大学授業料の減免等に関する規程等の改正について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

- 授業料減免と奨学金についての違い、関連性は何か。
- 授業料減免は、本学が定める基準の対象になっている学生の授業料の額について行っている。奨学金について以前は給付型が多かったが、現在は返済していくものがほとんどになっている。これは日本学生支援機構の基準・選考により貸与されるものであり、本学の授業料減免制度とは別のものである。奨学金を受けていても本学の減免制度を利用する際には関係しない。

【審議結果】

第3号議案は、原案通り承認された。

- (4) (第4号議案) 公立大学法人尾道市立大学学則等の改正について

【説明内容】

公立大学法人尾道市立大学学則等の改正について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

- 教職についた学生数はどの位いるのか。教職課程の需要はどうか。
- 昨年度は臨時採用から正規の採用まで OB も含めて十名以上いた。日本文学科、美術学科の学生が多い。美術学科の学生の就職先については、特別養護学校など、美術を活かして教える仕事に就いている者がいる。
- 教育実習先はどこか。
- 学生出身校が多い。尾道市内では、尾道商業がある。

【審議結果】

第4号議案は、原案通り承認された。

- (5) (第5号議案) 公立大学法人尾道市立大学教職員退職手当規程の改正について

【説明内容】

公立大学法人尾道市立大学教職員退職手当規程の改正について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

特になし

【審議結果】

第5号議案は、原案通り承認された。

(6) (第6号議案) 公立大学法人尾道市立大学業務方法書の改正について

【説明内容】

公立大学法人尾道市立大学業務方法書の改正について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

- | |
|---|
| <p>●兼務でも良いので、内部監査の組織を整備しておく必要があるのではないか。
○本学では別組織はないが、企画広報室において監査業務を行っている。</p> |
|---|

【審議結果】

第6号議案は、原案通り承認された。

(7) (第7号議案) 尾道市立大学教職支援センター規程の制定について

【説明内容】

公立大学法人尾道市立大学教職支援センター規程の制定について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

特になし

【審議結果】

第7号議案は、原案通り承認された。

(8) (第8号議案) 第2期中期計画について (報告)

【報告内容】

第3回理事会・経営審議会での承認を受けて、尾道市長より認可を得た。概ね原案に沿った内容となったことを、報告。

【主な質疑と応答、意見】

特になし

(9) (第9号議案) 平成30年度年度計画(案)について

【説明内容】

平成30年度年度計画（案）について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

●学生生活実態調査の結果を通して学生の家計状況を把握する新たな取り組みは授業料減免制度と関連しており、充実を図る上でも大変効果的で良い取り組みであるので、調査結果を報告していただきたい。

●学生生活実態調査の実施時期はいつ頃か。

○調査は学科単位で行う。時期としては、4月から6月までの間で行い、夏には集計する予定である。調査のフォーマットはすでに準備してある。

●クォーター制について、すでに実施している大学もあるが、授業の質が悪くなる等の声を聞く。メリット・デメリットがあるようだが、どのような効果があるのか。

○海外研修、サバティカル制度等の充実を考慮して、クォーター制の導入を検討する必要があると考えている。これから大学を取り巻く状況は厳しくなるが、それぞれの学科の良いところを打ち出し、高校生にも理解してもらえ、また、生き残っていける教育プログラム（特に経済情報学科）をアピールしていく。

【審議結果】

第9号議案は、原案通り承認された。

(10)その他

【報告事項】

- ・平成30年4月1日付人事異動について
- ・平成30年度学部入試結果について
- ・平成29年度進路別進捗状況について
- ・辞令交付について

議事終了